

長畝ふるさと通信



【2026年3月号】

■ コメ価格大幅に下がる？

農林水産省は23日、令和7年産の主食用米の需給見通しを最大7万トン下方修正するとなりました。コメ価格の高騰等によりコメの消費量は過去3年の平均値より約10万トンも減少しており、深刻なコメ消費離れとなっています。スーパーのコメ販売価格も5kg3000円を切る商品が先に売れていき、付加価値のついたブランド米は苦戦しているとか。他産地との差別化を図り付加価値をつけて有利販売しようと努力してきた産地や生産者にとってこれほど理不尽な結果は想定できなかったと思います。「安くなきゃ売れない、味は二の次」ではもはや工業製品ではないか……。政府は減反政策を続け、需給バランスを保つことでコメ価格を引き上げようとしてい



ますが、消費者目線からすると、「じゃあ、他の物食うわ」となる訳です。中東情勢の影響で原油価格が値上がりすれば今まで以上に石油由来製品が値上がりすることは必至であり、食生活にも大きな影響を及ぼします。あらゆるものが値上がりするのにコメだけは……と嘆きたくもあり、でも売れなきゃ意味ないし。頭の中が悶々としながら令和8年産米は始まるのでした。

■ 日本一のトキの学校が廃校

今年で創立123年を迎えたわが母校「行谷小学校」が3月いっぱい廃校になります。トキを飼育したことのある日本で唯一の学校として知られてきました。僕は昭和50年の卒業生で、その頃はまだ木造2階建ての古い校舎で同級生は23人でした。校庭の掃除をさぼって鬼のような担任の先生に怒られ、膝の裏にバットを挟んで大きな石の上に正座させられたこと、ランドセルをそり代わりにして急斜面を滑り、わずか1年でランドセルが壊れ手提げかばんで通学したこと、大きな松の木が3本生えている狭いグラウンドで運動会をやったこと（徒競走はいつもビリでした……）など懐かしい思い出ばかりです。

♪ 青い湖 白い雲 我らの村は明るくて～
♪ ……今でも校歌が歌えるってすごいと思います。



■ 一週間早いスタート

気象庁では夏の最高気温が25度以上を「夏日」、30度以上を「真夏日」、35度以上を「猛暑日」と呼んでいます。40度以上の正式名称はなく現在募集中だとか。「酷暑日」が最有力だそうです。個人的には「酷く暑い日」はイメージ的に良くないので「超暑日」が良いのではないかと考えています。そんなわけで今年も暑い夏が予想されるため、春作業を例年より一週間早め、夏の出穂期を調整する作戦を取りました。



田んぼでは畦塗り、耕耘作業でトラクターが常時3台稼働し、種まき準備には施設や育苗ハウスの整備と並行して種もみの浸種・催芽など慌ただしく準備が進められています。22日には排水路の泥上げ「地獄の江流」(1日中泥をスコップですくい上げるので、腕はパンパン、腰はガクガクするのでみんながそう呼ぶようになりました)には20名が参加してくれました。今年は天候にも恵まれ、春霞の中順調に作業が進みましたが、夕方になると一気に気温が下がり誰もが無口となりギブアップ。ここでも人手不足は深刻です。

■ 壮絶な怒り作戦

アメリカ(イスラエルも)がイランに対して大規模な戦闘作戦を実施しています。「壮絶な怒り作戦」とか言うらしい。何の罪もない民間人や多くの子供たちが犠牲になっています。戦争には双方に言い分があるのかもしれませんが、「壮絶な怒り」はお互いさまであり武力行使には断固反対です。この戦争のせいでホルムズ海峡の渡航が困難となり石油の備蓄を放出するそうですが(コメと一緒に)、国内需要の241日分だそうで…。資源に乏しい我が国はこれからの世界動乱に耐えられるのでしょうか。人口減少による人手不足は農業界でも深刻で、これ以上生産人口が減少すればまともに食糧も確保できません。高市チルドレンのみなさん、当選を喜んでばかりはいられませ



ん！期待を裏切って国民から壮絶な怒りを買わないことを願っています。

右の写真はご近所さんの竹やぶです。家主は都会へ移住し誰も住んでいないため管理する人もおらず、排水路の邪魔になるので仕方なく整備しました。人が住まなければその土地は荒れていくのです。過疎で残された住民は大変なんです。田舎を、国をみんなで守りましょう！